

# 令和4年度 登米市生活支援体制整備事業 登米・東和地域支援研修会



日 時:令和5年1月20日(金)13時30分~15時30分

会 場:東和地域福祉センター 日本間・研修室

主催:登米市生活支援体制整備事業 登米・東和圏域協議体  
社会福祉法人登米市社会福祉協議会 登米支所 東和支所

## 令和4年度 登米市生活支援体制整備事業

### 登米・東和圏域協議体「地域支援研修会」・登米・東和地区福祉活動推進員研修会開催要項 ～ 地域のお宝発表会 ～

#### 1. 目 的

登米市社会福祉協議会では平成28年度より登米市からの事業委託を受け、「住み慣れた地域でいつまでも自分らしく安心して暮らしていくために、一人ひとりが地域の中で役割と生きがいを持ち、暮らしの中でお互い様の視点と精神をもった支え合いの地域づくり」を目指し、生活支援体制整備事業を進めております。

本研修では、暮らしの中にすでにあるもの・できていることに目を向け、実際に行われている市内の活動事例を「お宝発表」として行い、本事業が目指すところに進むために開催します。

#### 2. 主 催 登米市社会福祉協議会登米支所・東和支所

#### 3. 開催日時 令和5年1月20日（金） 午後1時30分～3時30分

#### 4. 開催場所 東和地域福祉センター 研修室 登米市東和町米川字六反55-1 電話 0220-45-2139

#### 5. 参加対象 一般住民、地区委員、福祉活動推進員、行政区長、自治会長、民生委員児童委員、協議体委員

#### 6. 参加費 無料

#### 7. 申込み 参加される方は令和5年1月13日（金）まで電話でお申し込みください。

問合せ先 登米市社会福祉協議会 東和支所

〒987-0901 登米市東和町米川字六反55-1（東和地域福祉センター内）

電話：0220-45-2139 FAX：0220-53-4555

登米市社会福祉協議会 登米支所

〒987-0702 登米市登米町寺池金谷12番地1（登米老人福祉センター内）

電話：0220-52-4889 FAX：0220-23-9377

## 《本日のタイムスケジュール》

時間	内容
13:00～	受付
13:30～	開会 開会のあいさつ 登米市生活支援体制整備事業登米・東和圏域協議体 委員長 藤原和夫
13:35～14:05	第1部 講演 講演:「お宝でつながる 誰もが安心して暮らせる地域づくり」 講師:仙台白百合女子大学 准教授 志水 田鶴子 氏
14:05～14:20	第2部 地域のお宝発表会 「いしこし助け合いサービス」 石越町 佐藤 豊子 氏
14:20～14:30	～ 質 疑 ～
14:30～14:45	「住民有志の助け合い」 南方町 渡邊 忠雄 氏
14:45～14:55	～ 質 疑 ～
14:55～15:10	「本田ファーム」 迫町 佐藤 勝彦 氏
15:10～15:20	～ 質 疑 ～
15:20～15:25	全体講評 仙台白百合女子大学 准教授 志水 田鶴子 氏
15:25～	閉会のあいさつ 登米市生活支援体制整備事業登米・東和圏域協議体 副委員長 佐々木康明
15:30	閉会

困ったときは“おたがいさま”

# いしこし助け合いサービス

石越町の住民による、住民のための、会員制の助け合い活動です。



足腰が弱くなったり、免許を返納して車を運転できなくなったりして、生活でのちょっとした困りごとがあっても手伝ってくれる人がいない…そんな時に住民の皆さんの参加と協力によりお互いがお手伝いする、会員相互の助け合いサービスです。

利用する方も協力する方も会員登録をしていただき、必要に応じたサービスを提供します。

## 会員の対象者

種類	対象者
利用会員	石越町に在住し、事業の趣旨に賛同いただき、尚且つ60歳以上で車の運転ができなく、支援を必要とされる方。
協力会員	事業の趣旨に賛同いただき、助け合いの精神でご協力いただける方（付添い介助、車輛の運転、軽微な生活支援、事務局の運営支援等）

※サービスを利用するには、会員登録（許可）、同意書への署名が必要です。

## 利用会員会費及び利用料

年会費	1人/1,000円（事務諸経費・保険料）
利用料	1回1時間程度を目途とし、町内…100円 町外…200円 ※主な目的地は、石越町、中田町、迫町、若柳町とします。

## 利用日時

月曜日から金曜日（土日祝日・年末年始を除く）

午前8時30分から午後3時まで

## サービスの内容

協力会員が利用会員に対して、生活支援サービスを行います。

- ・病院等への通院付添い支援。
- ・買い物への付添い支援。
- ・金融機関への付添い支援。
- ・その他、ちょっとした困りごとのお手伝い。

1人、月2回まで  
利用できます。



# いしこし助け合いサービス利用の流れ



## 利用会員

石越町在住の60歳以上で  
支援を必要としている人



## 協力会員

このサービスの趣旨を理解し、  
お手伝いいただける方



① 1週間前までに  
利用申し込み

## 事務局

利用会員・協力会員登録  
サービスの調整



※当面の間、登米市社会福祉協議会  
石越支所に事務局を置きます。

③ サービス提供

④ 利用料金の預け渡し

⑤ 利用料金の納入  
活動の報告

② 協力会員の調整  
(時間・場所の連絡)

**利用される方、  
協力いただける方を  
募集します!!**

下記事務局へお申込み下さい。

申込書の配布、お問合せは下記まで!!

**相談・お問合せは、**

《いしこし助け合いサービス事務局》

(登米市社会福祉協議会 石越支所内)

電話 0228-34-2501

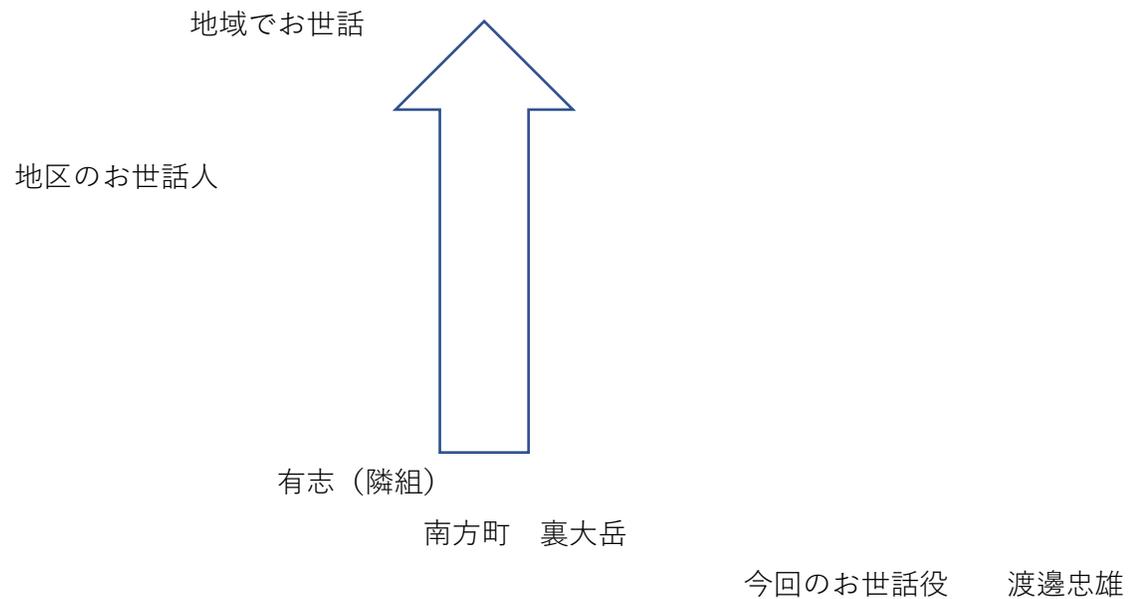
登米市石越町南郷字新石沢前 47-3

平日月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時まで

# 「住民有志の助けあい」

## 【困っている人への支えあい】

困っている人： 対応ができない・・・お金・人（助っ人）・行政（個人のことは首を入れない）・社協（ボランティアさんの危険性をはかりにかける。）



# 結 <sup>ゆい</sup> (ゆいっこ)

結とは小さな集落や自治単位において共同作業の制度。

- 一人で行うには多大の経費と期間そして労力が必要な作業を  
住民同士で助け合い協力しあう相互扶助の精神

# 古からの隣組の助けあい

- 当地区は自主防災組織発足（平成16年6月12日）から毎年実施している。
- 自主防災組織
  - コロナ禍でも毎年訓練し隣組の安否を確認しあう。
- ○ 隣近所3人から4人 一人リーダー
- ○ 声掛けをしてその一家のすべての安全を確認（安否確認書）一時避難場所へ（集まりやすいところをあらかじめ指定）
- ○ 確認後は「赤い旗を家の通路の出口に立てる」避難完了
- 地区住民が指定されている避難所（自主防災本部）に避難する

# 地震災害（福島県沖）

令和4年3月16日23時36分登米市・  
蔵王町震度6強



# 結のボランティア活動

- 所有者（持ち主）：母子家庭で何にもできず、途方くれて地域での生活道路を使用していると誰彼問わず、大風が吹くと大変だね・・・声
- いる日々がありました。
- 地区の民生委員・区長さん等が「持ち主」の力になりたい
- 「持ち主」は、市から被災証明書等を申請し受理
- 地区内で「なんとかすっぺちゃね。」声が出てきた。

# 誰かがやらなきゃ

日常会話から

誰： 地区のお世話人（区長さん・今回は民生員）

「あんだ だんどりすろや」。

「がってんしょうちのすけ」

実際のチラシは次のとおり

仮称「ゆいっこ隊」困っている人のお助け  
「非常に暑いですが水分補給は各自」お茶あり  
{保険未加入です各自安全作業に心がけてください}

いつ令和4年 6月25日(土) 9時30分現地集合

どこ [redacted]さん宅 [redacted]

現状： 写真のとおり



廃材置き場

どうするの： 小屋の解体並びに処理

- ① 解体 ②トタンと柱の分離 ② 本日クリンセンター休みなので2カ所にまとめて置く ③ 整理（後片付け）

解体業高田等に持っていける方。

木材は「大嶽山で引き取る。

ただし、30センチメートルに切った木材

参加する人 裏大岳有志「結の会」

[redacted] . . . 渡邊忠雄

# 行動を起こす

- チラシを配布
- 声掛けのチーフを先頭に
- 何日 何時現地集合で作業を
- 集まった方は
- 重機のオペレーター・製材業等 一般の隣組住民（若い方も来た）
- 「初めに」 私たちはボランティア活動です。「確認」
- もち弁でそして安全に作業できる服装と道具（金づち・バール）持参

# 〔作業風景〕



# すっきりしました。

- 最初は思うように作業ができず
- まず、半倒壊を完全に倒して解体
- 長年使用している小屋なので柱が丈夫で苦勞
- 更に「トタンを一枚、一枚はがす、足場が不安定な屋根でさび付いた釘は なか なかとれず
- 人が集まれば 知恵もわいてきます。いろいろと「あのと」「この手」と経験者の考え等を生かし実施
- 倒れれば、人海戦術で 一枚一枚トタンをはがして、躯体を  
処理
- 苦慮したこと 古釘と 躯体の処理

家主さんも参加して、片付いた光景に 何度も御礼の言葉で  
「どうもありがとうございます。」

参加者も「すっきりした笑顔」でした。

「仕事は残さず」

最後まで 次の日は 代表が軽トラで 柱等を豊里クリーンセ  
ンタへ運び トタンは家主が 回収業者へ

通る車もなんとなくスイスイと歩いていきました。

# 相互扶助は心を篤く結ぶ

- これを教訓に お互い助け合いそして 参加して
- この地に根ざした限りは、何かを見つけ楽しんで生活し
- みんなが見える地区におなればと願っています。

# 終わりに

ご清聴ありがとうございました。

「コロナ禍でも人の思いやりの心  
まだまだ廃れておりません」

## お宝発表（迫町本田ファーム）資料

本田ファームからのメッセージ

日本の食糧自給率はカロリーベースで37パーセント。

特に小麦、大豆、トウモロコシ、牛肉などはほとんど輸入に頼っていますし、種や飼料や化成肥料を考えれば91%が輸入に頼っており日本の自給率は10パーセント未満と云うのが現状です。

そして現在の世界食糧事情は日本のみならず大変な状況になってきています。

天候不順、戦争・紛争で生産ができず、できても輸出ができない。自国の自給でいっぱい。化成肥料の生産国では生産できず。肥料不足が野菜や果物、大豆に小麦の不作に繋がり値段も肥料の価格も上昇。結果、都会生活者はいくら稼いでも追いつかない状況になって来るのではないのでしょうか。（東京の自給率1%未満）しかし、地方生活者や田舎生活者は生き延びられます。そうです今、耕作放棄しているところを自分たちができる労働を提供し皆でワイワイ耕し100%までは行かないまでも自給自足の方向に切り替えることです。

私は本田ファームで畑の耕し方のいろはを学びました、おかげさまで現在少しの家庭菜園を楽しんでいます。

30分労働で芋は8月から翌年の3月ころまで白菜は11月～翌年の2月ころまで大根の葉は漬物にして納豆に絡んで1年中。家庭菜園のお陰でスーパーの野菜売り場はあまり用のないところになってしまいました。

野菜中心の食生活は私に健康をもたらしてくれなお且つ財布の中身を少しだけ減らさないようにしてくれています。輸入されている農産物はゲノム編集のトマトや農薬まみれの産物だったり、乳がんの増殖因子のエストロゲン入りの牛肉だったり自給率37%でお金が少しある日本に「今だけ」「金だけ」「自分だけ」の自国で食料が余っている国から押し寄せてきていますが、もうそれも難しい世の中になってきています。

そうなので、前述した天候不順、自国の自給率の低下で輸出を止めている国がすでに31ヶ国にもなっているのです。今年の物価はどんどん高値になって行きます。ハウス栽培の電気代、灯油代、労働賃金、設備資金、種代、肥料代、運送費用。畜産における飼料代の高騰。コロナ禍での世界のエネルギー事情は日本の都市生活者に今後とんでもない悪影響を及ぼすかも知れませんが、しかし田舎生活者は大丈夫です。今すぐ昔取った杵柄を持ち出して隣近所の耕作放棄地や一人では耕作困難な畑を本田ファーム（素人集団ワイワイ農作業）して見て下さい。そして地元を離れた息子や娘を孫や親戚を助けてやって下さい。そして健康と人情と食料を手に入れ、田舎生活の魅力の中で生きて下さい。

## 現在の収穫物の分配の仕方

「公平に文句の出ないように」

### 1, 作業度合いに従いポイント制にする

畝立て・・・3ポイント（足腰に効く重労働）

種植え・・・1ポイント（種・苗植えは軽作業）

収穫祭・・・1ポイント（区民ならだれでも、その日だけでもOK）

監督・・・1ポイント（長老の方、手足腰が痛い方・・・）

草刈り・・・1ポイント（畑周りや市立病院裏長沼川河川敷）

### 2, 年齢、性別は問わない（赤ちゃん、幼児、お年寄り）

### 3, 生産物数を各人に総ポイントで割り1ポイントの数を決定する

各人んの持ちポイントに1ポイントの数を掛けた分だけ分配する

生産物の仕分け、分配などは別々の担当とする

生産物数÷全員のポイント数=1ポイント

1ポイント×各人の持ちポイント=当日の分配数

令和4年白菜290株÷55P=5・2株

5株×マイポイント9=白菜45株

大根140本÷55P=2本

2本×マイポイント9=大根18本

令和4年 7月18日

本田区民各位

本田区 ファーム担当総務

鈴木 弘毅

# コロナに負けるな・収穫祭 本田ファーム

「歩いて行って15分、皆で作業30分、歩いて帰って15分」

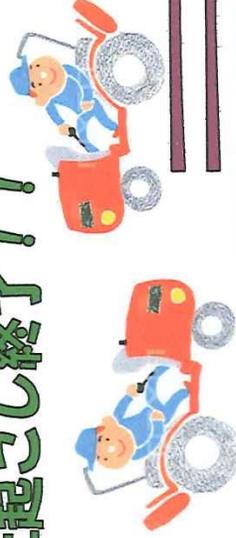
「散歩のついでに農作業」をキャッチフレーズに健康維持、食料の自主生産、コミュニケーションを豊かにし住みよい本田区を作るためのツールとしての本田ファーム、いよいよ夏の収穫祭です。監督席でも赤ちやんでもポイント1ポイントです。

## 令和4年7月24日 午前6時集合・スタート

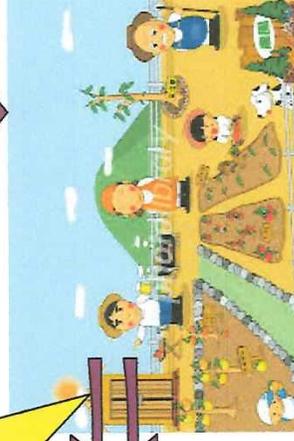
### トラクターによる 土起こし終了!!

畝たてポイント  
3

畝たてを  
しました



種蒔きポイント 1



収穫祭 1ポイント

監督ポイント 1

収穫物を入れる袋を用意し、移植ベラ持参で農作業できる服装で出場下さい。

参加者全員での記念撮影、皆さんうれしそうです

